

2022年6月14日（火）

報道関係各位  
プレスリリース

株式会社 SkyDrive

**外務副大臣、国土交通委員会理事、国土交通省航空局監理部長などを歴任した  
三ツ矢憲生氏が顧問就任、「空飛ぶクルマ」実現を支援**

「空飛ぶクルマ」（※1）および「物流ドローン」を開発する株式会社SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役CEO 福澤知浩、以下「当社」）は、外務副大臣、国土交通委員会理事、国土交通省航空局などを歴任した自民党・三ツ矢憲生元衆議院議員が顧問に就任した事をお知らせいたします。

**■ 三ツ矢憲生氏の就任の背景**

当社は、2018年に設立し、「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「空飛ぶクルマ」と「物流ドローン」を開発しています。「物流ドローン」は販売中、「空飛ぶクルマ」は2025年の大阪ベイエリアでのサービス開始を皮切りに日本の各地域、海外での事業拡大を目指しています。

政府は、世界に先駆けた「空飛ぶクルマ」の実現のため、2018年に官民協議会を立ち上げました。当社は、本協議会の設立当初から、空飛ぶクルマを開発するメーカーの代表として参加しています。これまで、機体開発の推進と共に、取り組んでいくべき機体の安全基準をはじめとする制度の整備を、国土交通省や経済産業省と一体となり推進してきました。

三ツ矢氏は、外務副大臣、国土交通委員会理事、国土交通省航空局などを歴任され、さまざまな政策に取り組んでいらっしゃいました。「空飛ぶクルマ」の実現が社会課題の解決に繋がるとお考えの三ツ矢氏に、これまでの経験と知見を活かしていただき、社会受容性を高める活動に関する支援・助言をいただく予定です。

**■ 三ツ矢憲生氏のコメント**

これまで長い間、行政や政治の立場から日本の航空政策、航空行政に携わってきました。航空の世界でもドローンの登場や脱炭素化の動き等今までになかった動きが出てきており、大きく変化しようとしています。SkyDriveの事業は未知のことも多く、それだけに乗り越えなければならない課題も沢山あると思いますが、それだけにチャレンジングでエクササイティングな分野です。これまでの自分の経験や知識が少しでもお役に立てればと思っています。

## ■ 三ツ矢憲生氏の略歴

三重県伊勢市出身。東京大学を卒業後、国土交通省に入省。外務省などを経て、国土交通省の航空局監理部長を退任後、2003年に衆議院議員初当選。6回の当選を果たした。財務大臣政務官、外務副大臣、衆議院外務委員会委員長などを歴任し、第二次安倍内閣では外務副大臣を務める。2021年10月に政界を引退。

※1 空飛ぶクルマとは：明確な定義はないが、「電動」「自動（操縦）」「垂直離着陸」が一つのイメージ。諸外国では、eVTOL（Electric Vertical Take-Off and Landing aircraft）や UAM（Urban Air Mobility）とも呼ばれ、新たなモビリティとして世界各国で機体開発の取組がなされている。モビリティ分野の新たな動きとして、世界各国で空飛ぶクルマの開発が進んでおり、日本においても2018年から「空の移動革命に向けた官民協議会」が開催され、2030年代の本格普及に向けたロードマップ（経済産業省・国土交通省）が制定されている。

引用元：国土交通省（令和3年3月付）<https://www.mlit.go.jp/common/001400794.pdf>

引用元：経済産業省（令和4年3月付）[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/air\\_mobility/pdf/008\\_01\\_02.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/air_mobility/pdf/008_01_02.pdf)

### ≪株式会社 SkyDrive 概要≫

設立	2018年7月
代表者	代表取締役 CEO 福澤知浩
URL	<a href="https://skydrive2020.com/">https://skydrive2020.com/</a>
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町2-1-1 東京オフィス：東京都新宿区 豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区 大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800号大阪駅前第1ビル8階
事業内容	「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、2018年7月に設立、「空飛ぶクルマ」及び「物流ドローン」を開発しています。「空飛ぶクルマ」の開発においては、国内で唯一、有人飛行試験を実現し、官民協議会の構成員として制度設計にも関与しております。30kgの荷物を運搬可能な「物流ドローン」は、山間部を中心とした作業現場で活用いただいています。「空飛ぶクルマ」は、現在2人乗りの機体を開発中、2025年に大阪ベイエリアでのサービス開始を目指しております。

本件に関するお問い合わせ

≪株式会社 SkyDrive≫

広報担当 大石：070-2246-8375

広報責任者 宮内：090-7226-6704

Email: [info@skydrive.co.jp](mailto:info@skydrive.co.jp)